

会 員 各 位

一般社団法人長野県作業療法士会事務局

令和7年度 11 月文書発送 のご案内

時下、皆様におかれましては、益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。

下記の文書を送付致しますので、内容物をご確認下さい。不足等がございましたらお手数ですが、下記県士会事務局までご連絡頂きますようお願い致します。

発送文書

【長野県士会 事務局より】

- ① 令和 7 年度 11 月文書発送 のご案内(この文書になります)
- ② 信州やまなみ全障スポ 令和8年度資格審査員の募集のご案内・・・申込期限:令和 8 年 1 月 10 日(土)

【長野県士会 会員管理部より】

- ③ 会員管理部より申請書類の内容変更のお知らせ、および休会申請について

【長野県士会 教育部より】

- ④ 令和 7 年度 第 1 回生活行為向上マネジメントオンライン基礎研修会

【長野県士会 学術研修部 学術誌編集委員会より】

- ⑤ 長野県作業療法士会学術誌 第 42 巻 追加希望について・・・申込期限:令和 7 年 12 月 26 日(金)

【長野県士会 第 41 回長野県作業療法学術大会より】

- ⑥ 第 41 回長野県作業療法学術大会演題追加募集のご案内・・・申込期限:令和 7 年 12 月 12 日(金)

【長野県士会 学術研修部 発達系リハ委員会より】

- ⑦ 発達系リハ委員会研修会開催のご案内(訂正版)・・・申込期限:令和 8 年 1 月 24 日(土)まで

【長野県士会 地区部 地域包括ケアシステム推進委員会より】

- ⑧ 2025 年度第 2 回地域事業支援会議ニュースレター

※各施設に 1 部ずつの発送です。施設内でご回覧ください。

一般社団法人長野県作業療法士会事務局

〒380-0921 長野市大字栗田 1568 脳梗塞リハビリステーション長野

TEL:080-9991-7380 FAX:026-217-1518 E-mail:jimukyoku@ot-nagano.or.jp

令和 7 年 11 月吉日

会員各位

一般社団法人長野県作業療法士会
会 長 傳田 拓男
(公 印 省 略)

信州やまなみ全障スポ 令和 8 年度資格審査員の募集のご案内

秋晴の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会事務局より、長野県作業療法士会に対し、第 27 回全国障害者スポーツ大会への参加協力のご依頼がございました。

内容といたしましては、「信州やまなみ全障スポ（第 27 回全国障害者スポーツ大会）」において、参加選手の障害区分と出場種目の適合等に関し、専門的な資格・知識・経験を有する方のご協力を得て資格審査を実施する予定です。

つきましては、資格審査に必要な専門的知識を有する作業療法士の皆様にご協力をお願い申し上げますとともに、積極的なご応募を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 資格審査の対象となる大会

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 信州やまなみ全障スポリハーサル大会 | 令和 10 年（2028 年）5 月下旬 |
| (2) 信州やまなみ全障スポ | 令和 10 年（2028 年）10 月下旬 |

2 資格審査員の推薦について

(1) 推薦人数 1 名

推薦された方には令和 8 年度から大会終了までの 3 年間御協力いただきます。

(2) 業務内容

ア 信州やまなみ全障スポ及びリハーサル大会の資格審査

（ア）信州やまなみ全障スポリハーサル大会資格審査 令和 10 年（2028 年）1 月頃

（イ）信州やまなみ全障スポ資格審査 令和 10 年（2028 年）7 月頃

イ 事前研修会の参加

ウ 打合せ、会議等への出席

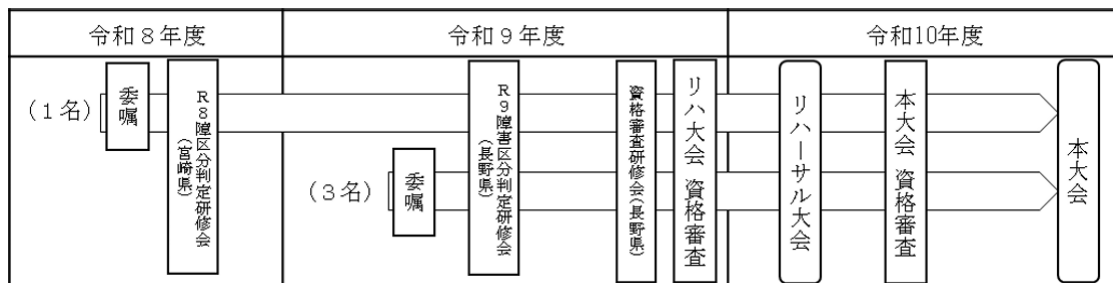
3 その他

(1) 応募資格は、長野県作業療法士会会員に限る。

(2) 資格審査に当日従事された方への謝金、旅費を実行委員会事務局からお支払いいたします。

(3) 推薦された方は、事前研修会として日本パラスポーツ協会主催の「全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会」及び実行委員会事務局主催の「資格審査研修会」へ御参加いただきます。研修会に係る参加費、旅費等につきましては、県の規定に従い実行委員会事務局が負担いたします。

<長野県作業療法士会推薦者の業務予定のイメージ>



(4)今回御推薦いただいた方に対して、令和8年4月に資格審査員の委嘱をさせていただきます。

◇資格審査員の申し込み方法

資格審査員を希望される方は、E-mailにてお申し込みください。

E-mail: 下記の必要事項を記入しメールでご連絡をお願いします。

【申し込み先】 jimukyoku@ot-nagano.or.jp

※件名に「信州やまなみ全障スポ 令和8年度資格審査員の募集」と明記をお願いします。

必要事項

1. 氏名・協会番号
2. 施設名
3. 地区（北信・東信・中信・南信）
4. メールアドレス

応募締め切り：令和8年1月10日（土）正午まで

※応募締め切り後、資格審査員を選定させて頂き、詳しい詳細などお伝えさせていただきます。

【信州やまなみ全障スポ 令和8年度資格審査員の募集に関する問い合わせ先】

一般社団法人長野県作業療法士会事務局
 脳梗塞リハビリステーション長野
 〒380-0921 長野市大字栗田 1568 番地
 事務局携帯 080-9991-7380
 mail: jimukyoku@ot-nagano.or.jp
 高坂光彰

令和7年11月1日

会 員 各 位

一般社団法人長野県作業療法士会
会員管理部長 中條 賢治

会員管理部より申請書類の内容変更のお知らせ および休会申請について

晩秋の候、会員皆様におかれましてはますますご健勝のことお慶び申し上げます。
また、日頃より長野県作業療法士会 会員管理部の活動、会費納入につきまして、ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

この度、会員の皆さまにご使用いただいている各種申請書類につきまして、一部内容を変更いたしました。
具体的には、メールアドレスを記載いただく箇所を設けております。

この変更に伴い、会員管理部のメールアドレス [Email : ot.nagano.kaiin@gmail.com](mailto:ot.nagano.kaiin@gmail.com) からメールをお送りした際に届かなかったということがないよう、会員の皆さまにはモバイルやパソコンにドメイン設定（受信拒否設定）をされている場合、メールアドレスとご登録いただくか、受信できるように設定をしていただきますようお願いいたします。なお、旧書式の使用も可能ですが、その場合メールアドレスの記載をいただければ幸いです。

また、来年度の休会届の受付を開始しています。令和8年4月～令和9年3月末までの休会を希望される方は、書類の提出をお願いいたします。休会申請には、休会を希望する前年度の会費納入が完了していることが前提となります。受付期間は令和7年11月1日～令和8年1月31日までです。休会を希望される方は、下記の宛先まで休会届をご郵送ください。FAXでの送信への対応は行っておりません。受付期間を過ぎてからの休会申請の受け付けはできませんのでご了承ください。

変更届・退会届 書類送付先

〒390-8648

松本市城西 1-5-16

城西病院

一般社団法人長野県作業療法士会 会員管理部 菱沼 美乃里 宛

入会届・休会届・変更届と休会届の同時提出 書類送付先 および内容に関するお問い合わせ先：

〒399-8292 安曇野市豊科 5685 番地

安曇野赤十字病院 リハビリテーション科内

一般社団法人長野県作業療法士会 会員管理部 中條 賢治

[Email : ot.nagano.kaiin@gmail.com](mailto:ot.nagano.kaiin@gmail.com)

会員管理部携帯 TEL : 080-5144-4662（平日 8:30～19:00）

会 長 印		事務局長 印		会員管理 部長印	
----------	--	-----------	--	-------------	--

入会申込書

年 月 日

(正 会 員)

一般社団法人長野県作業療法士会会長様

私は、一般社団法人長野県作業療法士会に正会員として入会したく、申し込みます。

フリガナ

入会申込者 氏 名 印

生年月日(西暦) 年 月 日 (男・女)

現 住 所 〒 -

TEL () -

フリガナ

Email:

出 身 校

作業療法士免許取得年(西暦) 年 免許番号

(一社)日本作業療法士協会会員番号・申請中

他県から転入の場合のみ：前 都道府県士会名

勤務先名

勤務先住所 〒 -

TEL () - FAX () -

※ 免許番号は必ず記入して下さい。協会入会申請中の場合は申請中に○をつけ提出して下さい

入会承認日： 年 月 日

会 長 印		事務局長 印		会員管理 部長印	
----------	--	-----------	--	-------------	--

変 更 届

年 月 日

(正 会 員)

一般社団法人長野県作業療法士会会長様

私は、このたび下記の項目に変更がありましたので、変更届を提出いたします。

変更内容（変更内容全てにチェックをして下さい。）

- ☐改姓 ☐自宅住所変更 ☐職場内異動 ☐県内移動
☐退職（退会者は退会届も提出） ☐県外転出（退会者は退会届も提出）
☐その他（ ）

変更前

フリガナ

氏 名

協会番号

自宅住所

〒

—

TEL ()

—

フリガナ

Email

勤務先名

所属

変更後

フリガナ

氏 名

自宅住所

〒

—

TEL ()

—

FAX ()

—

フリガナ

Email

勤務先名

所属

勤務先住所

〒

—

TEL ()

—

FAX ()

—

会 長 印		事務局長 印		会員管理 部長印	
----------	--	-----------	--	-------------	--

休 会 届 (新 規 ・ 延 長)

年 月 日

(正 会 員)

一般社団法人長野県作業療法士会会長様

私は、このたび下記の理由により休会いたしたく、休会届を提出いたします。

理 由 出 産 育 児 介 護 長期の病気療養

その他 ()

フリガナ

氏 名 印

日本作業療法士協会会員番号

現住所 〒 -

TEL () -

勤務先名

休会期間 年4月1日 ～ 翌年3月31日

休会中の連絡先 〒 -

フリガナ

Email

TEL () -

復会後の所属先

注1：休会を開始する前年度の11月から1月末日までに申し出ること。

注2：休会中は、会費が免除され、正会員の義務及び権利が停止します。

注3：この届を提出しても日本作業療法士協会を休会することにはなりません。

注4：休会期間は申請した年度の翌年度1年間のみ（4月1日から翌年3月31日まで）となります。

注5：翌年分の延長申請を行わない場合は、1年後自動的に復会となります。

注6：復会後の所属先がない場合は自宅会員となります。

会 長 印		事務局長 印		会員管理 部長印	
----------	--	-----------	--	-------------	--

復 会 届

(正 会 員)

年 月 日

一般社団法人長野県作業療法士会会長様

私は、このたび復会いたしたく、復会届を提出いたします。

フリガナ

氏 名 _____ 印

日本作業療法士協会会員番号 _____

現住所 〒 _____

TEL (_____) _____

フリガナ

Email _____

勤務先名 _____ 所属 _____

勤務先住所 〒 _____

TEL (_____) _____

注 1 : 復会年度の会費の完納および理事会承認後の復会となります。

会 長 印		事務局長 印		会員管理 部長印	
----------	--	-----------	--	-------------	--

退 会 届

（正会員） _____ 年 ____ 月 ____ 日

一般社団法人長野県作業療法士会会長様

私は、このたび下記の理由により退会いたしたく、退会届を提出いたします。

理 由

フリガナ

氏 名 _____ 印

日本作業療法士協会会員番号 _____

現住所 〒 _____

TEL (_____) _____

フリガナ
Email

勤務先名 _____

TEL (_____) _____

令和 7 年 11 月吉日

会 員 各 位

一般社団法人長野県作業療法士会
会 長 傳田 拓男
生活行為向上マネジメント研修委員会
代 表 者 藤森 健仁
(公 印 省 略)

令和 7 年度 第 1 回 生活行為向上マネジメント オンライン基礎研修会

拝啓、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、生活行為向上マネジメント基礎研修会を開催することとなりましたので、ご案内いたします。

作業療法士は「人は作業を行うことで元気（健康）になれる」という原理のもと、国民の健康に寄与してきました。この理念のもとに開発されてきた「生活行為向上マネジメント」は、過去の研究事業においてその効果が検証され、「作業療法の見える化」のツールとして有効であるとされています。このツールを利用した作業療法士、関連職種からも多くの賛同を得られております。国においても、活動と参加に焦点をあてたりハビリテーションを推進しております。

本研修会は、生活行為向上マネジメントを理解するとともに、演習を通して実際に活用できるようにするためのものです。現在この研修は、日本作業療法士協会 生涯教育制度現職者選択研修の選択の必修研修に位置づけられております。受講後は、各施設において生活行為向上マネジメントの推進をして頂きたいと考えております。なお、今回は、オンライン環境での基礎研修会となります。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 日時 : 令和 8 年 1 月 17 日 (土) 9:00~17:00 (受付 8:45~)
2. 場所 : オンライン環境 (Zoom を使用) にて実施
3. 参加費 : 県士会員 (OT) 4,000 円
 - ・参加費の振り込み方法は、申し込みフォームのネクプロ内で確認をおねがいします。
 - ・振り込みの証明となるもの (決済完了通知など) は、受講終了まで手元に残しておいていただくようお願いいたします。領収書が必要な方は別途ご相談ください。(基本的には発行していません)
4. 研修会内容・日程 : 生活行為向上マネジメント概論および演習
 - 8:45~9:00 受付
 - 9:00~10:30 オリエンテーション
生活行為向上マネジメント概論
 - 10:30~12:10 生活行為向上マネジメント演習①
(各種シートについての解説、事例紹介、聞き取りシートの活用について)

12:10～13:10 昼休憩

13:10～17:00 生活行為向上マネジメント演習②

(アセスメントシート・プラン演習シートの活用について、個人ワーク

グループワーク、申し送りシートの活用について、まとめ～実践研修について)

- ・講師は MTDLP 研修委員より選出させていただきます。

5. 申し込み方法

長野県作業療法士会の HP よりアクセスし、必要事項の入力を行って下さい。

HP からの申し込みについて…長野県作業療法士会 HP より、ネクプロのページにログインしていただき、その後、県士会員専用セミナーの、「令和 7 年度 第 1 回 生活行為向上マネジメント オンライン基礎研修」より申し込みください。長野県作業療法士会会員のみの受講可能となっています。

- ・ID・パスワードの初期値はご自分の協会番号です。

- ・PC メールアドレスの登録をお願いします。

(スマートフォンのアドレスを登録すると資料が送れない場合があります。)

- ・各個人での申し込みとなります。

※ 申し込みフォームにアクセスできない場合は、

E-mail : mtdlp_nagano@yahoo.co.jp (宛先：諏訪中央病院 藤森 健仁) まで、ご連絡下さい。

<申込時のお願い>

- ・定員は 40 名までとさせていただきます。(オンラインでのグループワークを行う予定のため、参加人数の制限をさせていただいています。申し訳ありませんがご了承ください。定員に達している場合はキャンセル待ちの返信メールがネクプロから自動で届きます。)
- ・必要な方は、日本作業療法士協会発行の「作業療法マニュアル 75 生活行為向上マネジメント (改訂第 4 版)」などの参考図書を用意して頂いても結構です。購入は各自でお願いいたします。
- ・修了証が日本作業療法士協会より発行されますので、協会に登録している所属でお申し込みください(所属が変わっている場合は速やかに協会登録の変更をお願いします)
- ・生活行為向上マネジメントは、養成校でも授業に組み込まれ、臨床実習の場でも必要なツールとなってきました。最近では、生活行為向上マネジメントに関連した問題が国家試験にも出題されています。職場の中堅以上の方やリーダーの方はぜひ声をかけ合って参加いただければと思います。
- ・本研修は、日本作業療法士協会に所属する作業療法士の方に限って、生活行為向上リハビリテーション実施加算算定要件の研修となります。なお、本基礎研修と実践者研修(事例の登録・報告)両方を修了しないと、生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定要件を満たすことができません。
- ・当日は必ずパソコン(カメラ機能必要)からの参加をお願いします。(連絡がとれるようにスマートフォンなど手元に置いていただきますが、スマートフォンからの参加は原則禁止です。)
また、グループワークを行う予定のため、同施設からの参加であってもそれぞれ個別のパソコンを使用していただくようお願いします。受講する際は環境の電波の送受信状況(Wi-Fi もしくはケーブル)が良好な場所からの参加をお願いします。

＊ご不明な点がございましたら、下記研修会事務局までお問い合わせ下さい。

〒391-8503 長野県茅野市玉川 4300 番地

諏訪中央病院 リハビリテーション科 藤森 健仁

TEL 0266-72-1000（代） E-mail : mtdlp_nagano@yahoo.co.jp

（メールでお問い合わせの場合は、件名に「MTDLP 基礎研修会問い合わせ」と記入して下さい）

6. その他

（1）生涯教育受講ポイントについて

本研修会は生涯教育受講ポイントの対象研修です。

（2）研修会に参加できなくなった場合は、E-mail : mtdlp_nagano@yahoo.co.jp まで連絡いただくか、当日参加される方を通じて、欠席の旨を研修会スタッフまで伝えていただくようお願いします。キャンセルの手続きについてはネクプロ内からお願いします。

（3）事前準備について

本研修会はオンライン環境での実施となるため、ネットに接続できるパソコンの使用や Wi-Fi 環境での参加が推奨されます。

当日の Zoom 接続 URL、事前資料、事例シート、参加者の心得、タイムスケジュールについては、別途メールでの添付、またはネクプロからのダウンロードを予定しています。

（4）各職場での事例検討会について

生活行為向上マネジメント推進委員会では、皆様の職場でのオンライン環境での事例検討会を開催することも可能です。1 回に最低 1 事例程度、参加（聴講）者 5～6 名程度あれば、推進委員がオンライン環境にて事例検討会を行います。ぜひ、事例検討会の企画を各職場でもお願いします。近隣の職場での合同でもかまいません。

令和 7 年 11 月吉日

会員各位

一般社団法人長野県作業療法士会
学術研修部 飯島 利浩
学術誌編集委員会 務台 均

長野県作業療法士会学術誌 第 42 巻 追加希望について

会員の皆様におかれましては、日頃から県士会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和 7 年 5 月の印刷物より郵送しておりました印刷物の一部をペーパーレス化、印刷物の削減のため各施設に一部（自宅会員は一部配布）もしくは各施設一部と希望者への送付とさせていただきます。

今回、長野県作業療法士会学術誌 第 42 巻 が対象の印刷物となっております。

そのため各施設に一部ずつ配布いたしますが、追加希望の方は、下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みをお願いします。

第 42 巻学術誌に報告論文、投稿論文を出された方で必要があれば必ず追加希望の申し込みをお願いします。（投稿論文の筆頭著者への単編論文の別刷り 30 部の進呈はあります）

なお、予備の冊数は非常に少ないため、のちに必要となってもお送りすることはできませんのでご了承ください。

申し込み締め切り：令和 7 年 12 月 26 日 金曜日

申し込み URL：<https://forms.gle/v9tEb1Y9WBnnV95w8>

申し込み QR コード



問い合わせ

長野県作業療法士会 学術研修部 飯島利浩
gakujutukensyuubu.nagano@gmail.com

令和 7 年 11 月吉日

会員各位

一般社団法人長野県作業療法士会
会 長 傳田 拓男
第 41 回長野県作業療法学術大会
学術大会長 橋場 美樹
(公 印 省 略)

第 41 回長野県作業療法学術大会演題追加募集のご案内

秋晴の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび第 41 回長野県作業療法学術大会を下記の要項にて開催する運びとなりました。

つきましては、会員の皆様からの**演題を追加募集**いたしますので次項からの「第 41 回長野県作業療法学術大会演題申し込みについて」をご確認下さい。なお、**当初の募集期間を 3 週間延長**いたしましたので、この機会にぜひご応募くださいますようお願い申し上げます。また、昨年度と同様に優秀演題の表彰を行う予定ですので、積極的にご応募いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日：令和 8 年 6 月 21 日 (日)
2. 場所：箕輪町文化センター
3. 大会テーマ：「OT だからできること～伝承と進化で育む確かな臨床力～」
4. 一般演題発表：口述発表およびポスター発表
その他、企画を検討中

以上

第 41 回長野県作業療法学術大会演題申し込みについて

演題申し込み方法

演題の発表を希望される方は、演題発表のエントリーをしていただくための「演題申し込み」をして下さい。その際に次ページからの「演題募集要項」を確認していただき E-mail にてお申し込みください。

後日、登録完了および抄録提出について改めて案内メールを送らせていただきます。申し込み後 1 週間を過ぎても案内が届かない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

E-mail：下記の必要事項を記入しメールでご連絡をお願いします。

【申し込み先】 41ot.taikai@gmail.com

演題抄録係：伊那中央病院 診療技術部リハビリテーション技術科 池上正斗

※件名に「第 41 回長野県作業療法学術大会演題申し込み」と明記をお願いします。

必要事項

1. 発表者名・協会番号
2. 施設名
3. 地区（北信・東信・中信・南信）
4. 演題名（仮題）
5. 希望発表形式（口述・ポスター・どちらでも）
6. メールアドレス

※携帯電話のキャリアメールでは、迷惑メールフォルダに振り分けられるなど、受信できないトラブルの可能性があるため推奨していません。常時確認しているメールアドレスかつ、原稿をデータでやり取りできるアドレス（PC で確認できるアドレス推奨）をお願いします。また、こちらからのメールを受信できるように設定をお願いします。

演題について

事例発表や研究発表以外にもアクティビティ、学生指導や新人指導での取り組み、各施設の特徴的な取り組みなど、幅広く募集いたします。多数のご応募をお待ちしております。

応募締切

演題申し込み ：令和 7 年 12 月 12 日（金）正午まで

抄録原稿の提出：令和 8 年 1 月 16 日（金）正午まで

演題募集要項

1. 応募資格：発表者は長野県作業療法士会会員に限ります。

2. 発表形式

(1) 一般演題：口述発表またはポスター発表

発表8分/質疑応答4分 の予定です。

※演題数によっては、発表時間の変更や希望発表形式に添えない場合があります。

※口述発表はパーソナルコンピューター（Windows、Microsoft Power Point）を用いて行います。

※ポスター発表の様式は演題採択後に再度連絡します。

(2) 演題論文の使用権について

演題論文の二次使用権・許諾権は一般社団法人長野県作業療法士会に帰属します。

(3) 演題内容に関わる倫理的配慮

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）などを遵守し、研究の計画・実行・分析・演題作成等の過程において、倫理的配慮を十分に行ってください。所属する大学・病院などに倫理審査委員会がある場合は、受審してください。

3. 演題採否/査読

申し込まれた演題に対して査読審査を行います。査読審査の結果によっては実行委員会より加筆・修正、もしくは不採録になる場合がありますのでご了解ください。

4. 応募上の注意

他学会等に発表済みの実質的に同じ内容の演題は応募しないでください。ただし、症例数の追加や分析方法や視点を変えた演題はその限りではありません。

5. 応募方法および締切

(1) 演題申し込み

別紙の演題申し込みの方法に従って送信してください。

締切：令和7年12月12日（金）正午必着

(2) 抄録集用原稿

以下の書式に従って提出してください。

締切：令和8年1月16日（金）正午必着

6. 抄録集用原稿について

(1) 作成方法

- ・本文の作成には Microsoft Word を使用してください。
- ・本文の前にタイトル・執筆者氏名・施設名・キーワードを明記してください。
- ・本文は 1,500 字以内とします。ただし、タイトル・執筆者氏名・施設名・キーワードは本文に含まれません。
- ・キーワードは日本作業療法士協会が定めた「作業療法キーワード集」より 3～5 語を選択の上、記載してください。キーワードは一般社団法人日本作業療法士協会ホームページにアクセスし、学術研究＞作業療法キーワード集からもご確認いただけます。
https://www.jaot.or.jp/academic_journal/key-word/
- ・本文には、はじめに・対象・方法・症例紹介・結果・考察・まとめ等の小見出しをつけてください。レイアウト・文字の大きさ・段組み等の編集は事務局にて行います。
- ・抄録には図表を使用しないでください。
- ・対象者への同意：「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）などを遵守し、本文に倫理的配慮について記載してください。特に、対象者の同意に関する記載は必須です。
- ・最大限の倫理的配慮：研究の計画・実行・分析・演題作成等の過程では、個人の尊厳、人権の尊重に最大限の注意を払ってください。所属する大学・病院などに倫理審査委員会がある場合は受審しその旨を記載してください。ただし、固有の委員会名などは記載しないでください。
- ・発表にあたっては、職場内での検討を十分に行った上でお願い致します。

(2) 提出方法

E-mail にて第 41 回長野県作業療法学術大会演題抄録係までご提出ください。

【申し込み先】 41ot.taikai@gmail.com

締切：令和 8 年 1 月 16 日（金）正午必着

※抄録はメールの添付ファイルとして送信してください。件名に「第 41 回長野県作業療法学術大会抄録提出（施設名）」と明記してください。

【演題登録および抄録に関する問い合わせ先】

第 41 回長野県作業療法学術大会 演題抄録係

伊那中央病院 診療技術部リハビリテーション技術科：池上 正斗

TEL：0265-72-3121（代表）

E-mail：41ot.taikai@gmail.com

※お電話の場合は、平日 12:00～13:00 または 16:30～17:00 の間にご連絡くださいますようお願いいたします。

7. 優秀演題の表彰

学会で発表された一般演題のなかから優秀演題を実行委員会で選考し表彰します。

8. 長野県作業療法士会学術誌用原稿について

長野県作業療法学術大会（以下、学術大会）で発表された演題は、発表年度に発行される長野県作業療法士会学術誌（以下、学術誌）に、抄録用原稿とは別に報告論文として掲載されます。そのため、学術大会での質疑応答を踏まえて内容を加筆・修正したうえで、報告論文を作成し、学術誌編集委員会へご提出いただくことになっています。必要に応じて図表を加えていただいても構いません。報告論文の位置づけは「短報」に相当します。

また、報告論文としてではなく、投稿論文として、本学術誌の最新巻に掲載することも可能です。その場合は、学術大会開催前までに下記問い合わせ先までご連絡いただいたうえで、報告論文の提出は行わず、学術誌の投稿規定に従って作成・提出してください。

なお、発表者のご都合や他誌への投稿予定等により、本学術誌への掲載を希望されない場合は、学術大会開催までに学術誌編集委員会までご連絡ください。

(1) 論文の作成方法

長野県作業療法士会ホームページの「学術誌」に掲載されている以下の文書をご確認のうえ作成してください。論文作成にあたっては、ホームページに用意されたファイルのひな形もご活用いただけます。

- 「長野県作業療法士会学術誌 投稿規定」
- 「同 原稿執筆要領」
- 「同 図・表作成ガイド」

(2) 論文の提出方法

長野県作業療法士会ホームページの「学術誌」内にある「論文投稿フォーム」より、原稿および図・表のファイルを提出してください。

提出締切：学術大会開催後 1 週間以内（令和 8 年 6 月 28 日まで）

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【学術誌用原稿 問い合わせ先】

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
信州大学医学部保健学科作業療法学専攻
務台 均 宛
TEL：0263-37-2405（直通）
E-mail：gakujutushi.ot.nagano@gmail.com



長野県作業療法学術大会

学会テーマ

OTだからできること
～伝承と進化で育む確かな臨床力～

2026.6.21 日

会場

箕輪町文化センター

長野県上伊那郡箕輪町中箕輪松島10291

大会長

橋場 美樹

上伊那医療生活協同組合
上伊那生協病院

特別講演

日本作業療法士協会 会長

山本 伸一 氏

- 山梨リハビリテーション病院 名誉副院長
- 健康科学大学 評議員



ご講演に加えて「上肢機能アプローチ」をテーマにした実践セミナーもご担当いただきます！

本学会のポイント！

・山本協会長による講演

実技セミナーもあります

・実践セミナー

明日からの臨床に生かせる5人の現役臨床家による実践セミナー

・託児 無料！

子育て世代も参加しやすい学会です

・作業所による物品販売

大会特設ホームページは
こちらから

<https://41otgakkai-nagano.studio.site/>



お問合せ先

第41回 長野県作業療法学術大会事務局
上伊那生協病院内

✉ 41ot.gakkai@gmail.com

回 覧

令和7年12月吉日

会員 各位

一般社団法人長野県作業療法士会
会 長 傳田 拓男
発達系リハビリテーション委員会
委員長 松下 雅子
(公 印 省 略)

発達系リハビリテーション委員会 研修会開催
「発達障害・精神障害のある方の就労支援～制度と現場をつなぐ実践勉強会」
についてのご案内(訂正版)

拝啓 時下、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、私ども発達系リハビリテーション委員会の活動にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先月の県士会発送物において、令和8年2月1日(日)に開催されます標記研修会のご案内を差し上げました。その際に記載しました会場に変更がございますので、修正して改めてお知らせいたします。

本研修会は、来場とオンラインのハイブリット形式で開催いたします。ご都合のつかない方には後日配信を予定しておりますので、お申込みいただければ幸いです。

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 日 時 : 2026年2月1日(日) 9:30～11:40

9:00 開場

9:30 開会

9:35 講演

11:10 ディスカッション

11:40 閉会

2. 会 場 : ~~長野保健医療大学 本館3階第1作業療法室~~

会場をこちらに変更しました
お間違えの無いようにお願いします

変更 ⇒

にじいろキッズらいふ 2階多目的ホール
(〒380-0928 長野市若里 6-6-14)

※60台駐車可能です。施設正面の駐車場にお停めください。

・オンライン開催も行うハイブリット形式(後日配信あり)です。

申込者には開催が近づきましたら ZOOM の ID をお知らせします。

3. テーマ：「発達障害・精神障害のある方の就労支援～制度と現場をつなぐ実践勉強会」
4. 講師：長野労働局 地方障害者雇用担当官 久保田雅氏
長野公共職業安定所 専門支援部の方（現在適任者の選定依頼中）
5. 参加費：長野県作業療法士会会員 1500 円 *長野県 PT・ST 士会会員は 1500 円
非会員（日本作業療法士協会のみ入会の方も含めて） 4500 円
一般参加者 1500 円
学生 無料
6. 申し込み方法：同封のリーフレット、もしくは下記の QR コード、URL からアクセスし、必要事項を入力してお申し込みください。お申し込みは各自でお願いします。

申し込み締め切り：1月24日

長野県作業療法士会会員の方（一般参加の方もこちらから申し込めます）

研修会申し込みには、ネクプロ（下記 URL）からログイン
していただき、本研修会を選択し必要事項の入力をお願いします。

<https://v2.nex-pro.com/ot-nagano>



※キャンセルされる場合は 1月31日までにネクプロからお願いします。

※ネクプロへログインできない場合は、下記メールアドレスまでお問い合わせください。

長野県作業療法士会非会員の方、学生の方（Google Form）

長野県作業療法士会に入会されていない方はこちらのフォーム
からお申し込みください。お申込みいただくと、参加費の振込先
のご案内がありますので、お振込みをお願いします。

<https://forms.gle/1tV8sTmnMgexUnM18>



※非会員の方でキャンセルされる場合は 1月24日までに下記メールアドレスにご連絡ください。
返金の手続きをさせていただきます。それ以降は参加費の返金をいたしませんのでご了承ください。

※学生の方でキャンセルされる場合は、1月31日までに下記アドレスにご連絡ください。

7. 領収書の発行について

クレジット会社の明細、銀行の振り込み明細書で対応できない場合は、下記メールアドレスにご連絡ください。

問い合わせ先 ※可能でしたらメールでお願いします

長野保健医療大学 保健科学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻 松下 雅子
Tel 026-214-0422（研究室直通）
E-mail:nagano.ot.suishin@gmail.com

2025年度 第2回地域事業支援会議 長野県士会版

地域で作業療法士が活躍できるために…

2025年度の第2回地域事業支援会議が、10月4日(土)・5日(日)に東京での現地参加とWebによるハイブリッド形式で開催されました。今回は初の試みとして、選任者・聴講者に加え、実践者の方々も新たに参加され、総勢170名に及ぶ大規模な会議となりました。当士会からは、小淵浩平(長野松代総合病院)、務台均(信州大学)らが選任者として参加しました。会議では、地域共生社会において作業療法士が地域でより活躍していくために、行政との連携、地域ケア個別会議や通いの場での関わり方などについて、原点に立ち返り、未来へと歩みを進める活発な意見交換が行われた1.5日間でした。

1日目は、山本会長からの挨拶に始まり、辰巳常務理事から「地域で活躍できる作業療法士を育成システムの構築に向けて」の発信、続いて、地域包括ケア推進班からは「OT参画実態調査の結果のご活用とご依頼」「医療から地域への取り組み促進事業の実践事例集の紹介」「市町村担当者配置モニタリング表入力の手引き」の紹介がありました。

安本勝博先生からの「行政とつながるために」では、政策や制度の理解を踏まえた具体的な実践紹介があり、作業療法士が地域住民に健康に寄与できるように、自立支援等の意味や定義を一人一人が深く考える機会となりました。

2日目は、佐藤孝臣先生より「原点回帰」をテーマに、国の課題に対して作業療法士がどのように応え、どのように活動を広げていくかについて熱い講義がありました。ゼネラリスト的思考の重要性や、新たな活動分野への挑戦と確立についての示唆に富んだ内容で、多くの参加者が刺激を受けた時間となりました。

第3回目の地域事業支援会議は令和8年2月15日曜日の午前、オンラインの予定になっております。

地域事業支援会議の報告 (ワールドカフェ&グループワーク)

1. 行政とOTがつながるために (1日目)

行政は、法律を基盤として事業計画を策定し、政策を実行していくため、独自のリズムを持っています。OTも各市町村の事業計画を理解し、参画していくことが重要であるとお話がありました。また、OTが国民の健康にどのように寄与できるかを明確に示すことを強調され、組織として、取り組む意義と必要性を改めて感じる内容となりました。



安本先生の実践例から、「協力」ではなく「協働」を重ねて信頼を築く大切さを改めて感じました。また、「主役は住民であり、専門職は黒子に徹する」という言葉が印象的で、私たち自身の関わり方を見つめ直す時間になりました。現場で行政と連携する際には、相手の立場を尊重しながら、地域の「したい」を共に形にしていく姿勢を大切にしたいと思います。

2. 原点回帰 (2日目)

「地域ケア個別会議で社会参加に繋げるためのOTの視点と伝え方」「通いの場が住民が主役になるためにOTができることとは」の2本をテーマに掲げ、意見交換が行われました。実践者を加えたWebでは、グループワークを通じて意見を深め、現地参加者は、知識やアイデアを共有・発展させる手法のワールドカフェを用い、多様な意見や視点を広げながら議論を進めました。



“活動と参加の専門職”として、臨床を超えて地域に貢献していくための「ゼネラリスト的思考」の重要性が強調されました。会場では、「制度の枠を越えて、目の前の人と地域に向き合う」というメッセージに多くの参加者が共感していました。今後の地域実践の方向性を考えるうえで、自分の原点を再確認する貴重な機会になったと感じます。

編集後記

行政・住民・専門職がそれぞれの立場で協働しながら、「地域をともにつくる」この意味を改めて感じた2日間でした。会議全体を通して、作業療法士が地域に出ていく意義を、制度や政策の理解だけでなく、現場の温度感とともに学ぶことができました。特に印象に残ったのは、「主役は住民、OTは黒子に徹する」という姿勢です。臨床での支援と同じように、地域でも“誰かのしたいを支える”ことが私たちの専門性の根っこにあると感じます。いま、長野県内でも総合事業や通いの場など、作業療法士が関われる場が少しずつ広がっています。行政や社協、住民との協働の中に、きっと新しいOTの可能性が見つかるはず。このニュースレターが、地域に関心を持つ皆さんの、一歩を踏み出すきっかけになれば嬉しく思います。

地域包括ケアシステム推進委員長：小淵浩平(長野松代総合病院)